

# 序



今日、我が国の教育はめざましい普及・発展を示しております。この教育の質的、量的進展は、我が国の社会、経済、文化の発展に大きく寄与しているところであり、今後この教育水準の維持、向上に努めなければならないことは論をまたないところでもあります。

しかしながら、近年の社会の変化は、人々の連帯感や相互扶助の精神の希薄化、家庭や地域社会の教育機能の低下、青少年の問題行動の増加など教育にかかわる様々な問題を提起しております。一方、社会の技術革新、情報化、高齢化や国際化等の新しい波は、人々に生涯にわたる学習機会の拡充を求めるなどの精神的、文化的な欲求を高めさせております。

こうしたことから、本県では社会の変化に対応した教育のあり方を検討し、昭和60年度より「第3次福島県長期総合教育計画」を実施したところであり、人間性の尊重を第一義とし、21世紀に向けた人づくりをめざしているところでもあります。

本書は、このような昭和60年度の本県教育行政の実績を収録し、県教育委員会、教育庁及び各種教育機関の活動のありようをまとめたものであります。この「教育年報」が、本県教育の今後の展開に有用な資料として活用していただければ幸いです。

昭和61年10月

福島県教育委員会

教育長 佐藤 昌志